

事務事業評価表

平成27年度【26年度事後評価】

会計名称	一般会計					
事務事業名	細々目04 グループウェアシステム事業					
予算区分	款	02	総務費		所属	情報政策課
	項	01	総務管理費			
	目	01	一般管理費		連絡先	0594-24-1338
	細目	010	行政情報化事業費			

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	下欄の対象指標	付記事項
グループウェアシステム機器		
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	下欄の活動指標	
<p>グループウェアシステムの適切な管理・運用を行うことにより行政事務の簡素化、迅速化を図り、職員の情報共有を推進することで、市民サービスの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務開始前のシステム起動状況確認 ・障害発生時の即時対応体制の確保 ・構築業者にシステム保守を外部委託 ・システム管理・運用等に関し、毎月の定例打合せを実施 <p>グループウェアシステムを更新、平成26年11月から運用開始 情報系端末905台等を更新、平成26年12月から運用開始</p>		
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	下欄の成果指標	
安定的にグループウェアシステムを稼働させる。		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	27年度当初	
対象指標	機器台数(情報系端末)	台	1,019	1,030	1,024	1,024	
活動指標	システム稼働日数	日	365	365	365	365	
成果指標	システム不具合日数	日	0	0	0	0	
			0	0	0		
		目標値					
		実績値					
投入コスト	事業費計		16,722	14,479	19,816	28,157	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		16,722	14,479	19,816	28,157
所要人員(正職員・嘱託)		人工	0.00	0.80	1.20		

進捗評価

(事務事業の成果とその向上余地について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

成果向上の余地はあるか。

- ある(向上)
- 維持
- なし(低下)

クラウド方式の採用により機器の保守や維持管理等に要する費用、職員負担が軽減され、効率的なシステム運用に役立つ。端末更新の影響で、短期的には経費増である。